

グループ②	ファシリテーター: 庄司 紀子(茨城県立中央病院)
テーマ	教育について
参加者	2名
	ベテラン・指導的立場にある人
内容	<p>&lt;部署で困っていること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 部署で異動者が多く新人が多い。新人を育てるために多くの時間や人材が必要となる。他の施設ではどのように新人の育成を行っているのか？</li> <li>⇒他施設も同じような悩みをかかえている。手術後に振り返りを行うが、その時間は時間外になってしまう。</li> <li>◎新人に学びを深めてもらいたいが、他の手術もあり人材の確保が難しい現状がある。など</li> <li>* コミュニケーションの問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導をしても反応が見えにくく、コミュニケーションがとりにくいと指導が難しい。</li> <li>・特に若いスタッフは医師とのコミュニケーションで悩んでいる。</li> </ul> </li> <li>⇒リフレクションで良かった点をフィードバックするようにしている。朝、指導者などから積極的に声掛けをするようにしている。新人が器械出しを独り立ちするときなど特に、そばには仲間がいることを意識づけられるよう、声をかけていくことを実践している。運営会議などで、新人が入ることなど医師にも伝え協力を依頼している。医師とコミュニケーションが取れるように、まずは看護師から積極的に医師に挨拶を行うよう、指導している。その日、医師に注意を受けたことなど、新人が医師との関係を築けるように、指導者と一緒に医師に教わりに行くことある。</li> <li>◎コミュニケーションの問題は多いが、それぞれの施設で工夫しながら行っている。メンタル的な問題も多く難しい現状がある。</li> </ul>
まとめ	<p>「ベテランと若い人の考え方の違い」など他にも、他にも情報共有することができた。少ない人数でしたが、3施設とも同じような現状の悩みを抱えていることがわかった。</p> <p>みんな悩みながら頑張っていることを共有できたことは、今後の励みになる。もっと多くの施設で行われている教育方法、工夫などが聞きたいですね。</p>